

M. M.（社会システム学科・1 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

具体的に留学を考え出したのは高校生のころです。昔から小説や漫画の影響で海外に興味があり、大学に入ったら必ず留学しようと決めていました。特に大学進学の進路選択の際、日本のよいところを海外に伝えるような仕事をしたいと思ったのも大きかったです。一度日本の外で生活をして、日本の魅力を再発見し、日本文化のニーズを探るという意味では、留学という手段はとても魅力的でした。

② 留学決定から出発までの準備期間

正直なところ、語学の勉強はあまりできていませんでした。計画を少し詰め込み過ぎたところがあり、計画倒れになってしまっていた面があります。ビザの申請はネットを通して自分一人で申し込むことができ、それは小さな自信につながりました。領事館での面接の際も緊張していたのですが、面接官の方が思っていたよりもフレンドリーだったため、最後はリラックスすることができました。渡航前にアメリカで使える SIM カードを調べて契約していていたので、渡航後すぐに連絡を取ったりすることができ、役に立ちました。

③ 現地到着後

ホストファミリーが車で迎えに来てくれていたので、空港を出てそのまま家に向かいました。入国手続きには長蛇の列ができていてかなり時間がかかりました。入国手続きを終え、バスでターミナルの出口に向かうと、わかりやすい場所でホストファミリーが名前を書いた紙を持って立っていてくれたのですぐに分かりました。

オリエンテーションは全て英語で行われましたが、特別難しいことを行うわけではないので、すぐに理解できました。（アメリカの常識、ホストファミリーと生活する上での権利、マナー、ビザの決まりなど）

④ 語学研修機関

キャンパスは自然豊かで、落ち着いた雰囲気です。図書館の地下はチュータリングが受けられたり、自主学習をする環境が整っています。クラスは、初回に行うテストによって分けられますが、クラスのレベルに納得できない場合はもう一度テストを受け、合格すればクラスを上げることができます。私は Grammar のクラスで再度テストを受け、クラスを上げてもらいました。課題の量は先生によってまちまちですが、物足りないと感じたときは先生に頼んで追加の課題を出してもらったりしました。試験はミッドタームとファイナルの二回で、スコアが出ます。

サービslラーニングでは、NPO にボランティアに行きました。私はホテルとアート系の団体へ行きました。サービslラーニングの実習に入るまではビジネスメールの書き方や履歴書の書き方、アメリカの職場文化などの講習があったのでとても役に立ちました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

課外活動として、オプションでのアクティビティにも参加していました。授業とは別に料金がかかることが多いのですが、とても楽しかったです。個人では行きにくい場所にバスで連れて行ってもらえたりするのでとてもよかったです。クリスマスやハロウィンのパーティーは無料で参加でき、ほかの留学生とも交流を深めることもできます。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先の家族はとてもよい方々でした。私が初めての受け入れだったらしく、お互い初めてのことばかりでしたが、うまく生活できました。食事も晩ご飯は作ってもらえ、朝と昼は材料を自由に使わせてもらい、各自で作っていました。たまに買い物と一緒に連れて行ってもらい、ほしい食材などを買ってもらいました。日本食の食材店にも連れて行ってもらい、米なども買ってもらいました。通学にはバスや自転車を使っていました。家から学校までは徒歩を含めて30分くらいでした。最後の方は、自転車をホストファミリーに借りて、それに乗って行っていました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマス休暇には家族がアメリカにやってきて、ホストファミリーの家まで来てくれました。そしてそのまま一緒にグランドキャニオンやディズニーランドに行きました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

楽しかったことはたくさんありますが、特に印象に残っているのはホストファミリーとクリスマスツリーを切りに行ったことです。日本ではなかなかできない体験でした。また、家族のイベントに家族の一員として参加させてもらえたのがとても楽しく、うれしかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

ホストファミリーがお葬式や旅行で計2週間いなかった間体調を崩してしまい、学校に行けなかったことがありその間はとても大変でした。しかし学校のスタッフの方々や友達に支えられ、乗り越えることができました。今になってみれば、成長できた思い出になっていますが、最中はとてもしんどかったです。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

思っていたほど大きなカルチャーギャップはありませんでしたが、細々した文化の違いに驚くことはありました。(テーブルマナーや、レストランでの会計の仕方など)

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコン、SIM フリーのスマホ

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

TOEIC では、200点ほどスコアが上がりました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

事前にいろいろ調べていって損はないです。お得な情報や役に立つ情報は英語のサイトなどにも多くあります。面倒くさがらず調べておくことが大切です。留学に関する情報もビザの決まりやルールなどしっかり調べておくことが大切です。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の夢は、海外と日本とをつなぐような仕事をする事です。将来的には起業もしたいと思い留学にのぞみました。留学中の研究では将来のビジネスに生かせる研究をしました。将来、留学で学んだことをいかして自分のビジネスを作り上げたいです。

V. 写真



PIA のラウンジです。お湯も出るウォーターサーバーや電子レンジがあります。おひるどきは人でいっぱいになります。



サンクスギビングデーで、ホストファミリーの息子さん家族の家でターキーを食べました。

R. I.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校生の時1ヶ月だけオーストラリアに語学研修に行き、ホームステイも経験しました。しかし、思うようにコミュニケーションが取れず悔しい思いを持ったまま帰国しました。その時から、大学生になったらもう一度留学に挑戦しようと心に決めていました。自分へのリベンジと初めての場所での生活を通して、英語力はもちろん自分自身を成長させたいと思いこの留学を目指しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

ビザの申請手続きが大変と聞いていたので少し不安でした。しかし大使館のホームページにある動画はとても分かりやすく、予想していたよりすんなりと申請することが出来ました。初めてだったのでいい経験になったと思います。飛行機も自分で予約をしました。関空から成田まで行き、そこからポートランドへの直行便に乗る予定でしたが、関空に着いてからの乗り換え時間が1時間半くらいの便しかなかったので、余裕を持ってポートランド行きの便に乗れるように、成田までは新幹線で行きました。

③ 現地到着後

私は出発予定日の直前に体調を崩してしまい、遅れて一人で行くことになりました。空港到着後はPIAのスタッフの方が迎えに来て下さいました。みんなより少し遅れての到着だったので、到着したその日にそのままPIAに向かい、クラス分けのテストを受けました。病み上がりの上に時差もあったのでとても大変でしたが、PIAのスタッフの方々はとても親切で、遅れて来た私のために別の日にオリエンテーションの時間も作ってくださりとても助かりました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校自体はそんなに大きくはないですが、移動がしやすい大きさでとても過ごしやすかったです。自然に囲まれたキャンパスで、綺麗なところでした。スタッフの方々も本当に親切で、とても頼りにしていました。

◆ 授業内容、課題、試験

文法の授業内容は中学や高校ですでに習ったものでしたが、それを英語で学ぶと新たな発見もあり、日本語では学びきれないニュアンスの違いなども教わることで勉強になりました。日本の授業のように座って聞いているだけの受け身なスタイルではなく、席に座

るときもクラスメイトと向き合う形なので、自分の意見を述べたり、話し合ったりする時間が多かったです。課題は毎日出ますが、こなせない量では全くないので、授業をしっかりと聞き、参加し、課題をこなしていれば試験も難しいものではなかったです。

◆ サービスラーニング

毎週火曜日の 3 時間目に 1 月から始まるサービスラーニングのための準備授業がありました。授業では英語でのビジネスメールの書き方や履歴書の書き方、アメリカでのタブーなどサービスラーニングを行っていく上で必要なことを学びました。1 月からは実際にサービスラーニングが始まり、私はインターナショナルスクールの保育園と、エコに関する授業をポートランド市内の小学校で行っている機関で働かせてもらいました。プレイスメントの方々は本当に親切でたくさん学ぶことが出来、本当にいい経験になりました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

PIA 主催のアクティビティにはいくつか参加しました。その中でもシアトル旅行はとても楽しかったです。毎週金曜日にポートランド州立大学で行われていた、日本語を学んでいる現地の学生とフリートークをするというものにも何度か参加しました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先は PIA まで徒歩で行ける場所だったのでとても助かりました。ホストファミリーは両親と娘 3 人、韓国人のルームメイト 1 人（1 月から台湾人の留学生がもう一人増えました）で家には 7 人いる状態だったので、いつもとても賑やかで本当に素敵な家族でした。食料は常にたくさんあったので、朝ご飯は自分の好きなものを食べ、昼ごはんはマザーが仕事に行く前に娘 3 人分と私たち留学生 2 人分を作ってくれていたのでものを持っていく形でした。夜ご飯は週 4 日くらい家族が交代で作ってくれ、後の 3 日間はその残りを食べるという感じでした。お腹が減ったら家にあるもの好きな時に食べていいよとホストファミリーから言われていたので、食事に関しては気を遣うこともなかったです。唯一少し大変だったのは娘 3 人とルームメイトと 5 人でシャワールームが共同だったので、使う時間がかぶらないように見計らって入らなければいけないことでした。かぶると 1 時間以上待つこともありました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマスにカリフォルニアへ旅行に行きました。長期間の滞在は出来なかったのですが、ディズニーランドやサンタモニカビーチなど王道のスポットしか行けなかったですが、いい思い出と経験になりました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学中は毎日が刺激的でとても楽しかったです。最も思い出に残っていることは毎日 5 時を過ぎると家族が次々と帰ってきて、リビングに 7 人全員が集まる時間です。何気ない毎日の習慣ですが、毎晩みんなでテーブルを囲って今日あった出来事を話したり、たわいもない話をして笑ったり、私にとっては本当に大切に素敵な時間でした。また、ハローウィンやサンクスギビングデイ、クリスマスなどの行事ごとにホストファミリーの友達の家で開かれるパーティと一緒に連れて行ってくれ、アメリカでの祝日の過ごし方を体験させてくれました。それも大切な思い出の一つです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初のうちは慣れない生活に戸惑い、日本の家族が恋しくなることもありましたが時間が経つにつれて慣れていき、アメリカでの生活を楽しめるようになりました。1 月に大雪が降り、サービ斯拉ーニングがキャンセルになることが何度かありました。そのときは家から一歩も出られず大変でした。家が丘の上にあったので、大雪の次の日などサービ斯拉ーニングに向かわなければならないとき、雪がまだ残っている状態だったので、バス停まで向かうため丘を下るのが本当に危険で大変でした。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

ハローウィン、サンクスギビングデイ、クリスマスなど行事があるごとにホームパーティを開き大勢の人たちと祝日を祝い、楽しむということです。日本ではなかなかホームパーティというものに馴染みはないと思うので新鮮で楽しかったです。私のホストファミリーだけかもしれませんが、テレビを見る習慣がなかったので、留学期間中はほとんどテレビを見ていなかったです。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンは絶対に必要だと思います。Writing の授業ではパソコンでエッセイを書いたり、Speaking の授業でもパワーポイントを作成したり、サービ斯拉ーニングでもプレイスメントによってはパソコンが必要だったりするので、自分が普段使っている使い慣れたパソコンを持参することを強くおすすめします。USB も持っていくと便利です。あと私が持っていったらよかったと思ったものは 3 泊 4 日用くらいのスーツケースです。日本からアメリカに向かう時は大きいスーツケース 1 つに荷物をまとめたので、長期休暇でちょっと旅行に行こうとした時のスーツケースがなく、現地で購入することになりました。アメリカか

ら帰るときも荷物が増えて、持ってきたスーツケースだけでは入りきらなかったので、現地で買ったスーツケースが役立ちました。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

行く前と語学力を比べると全体的に上がったと思います。特にリスニング力は一番伸びたのではないかと思います。TOEIC のスコアでもそれが表れていました。自分の意見や気持ちを英語にして伝える力は英語力の中でも一番難しく、なかなか伸び悩んだ部分でもあるので、留学で伸びたものを低下させることなくさらに伸ばしていくためにこれからも勉強が必要なところだと思います。留学に行くだけで英語力が伸びるわけではないので、留学先でどのように過ごすかが英語力を伸ばすためのカギになると思います。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学に挑戦することはとても勇気のいることだと思います。私も実際、大学生になったら留学にいくことを決めていたにも関わらず、国際課の前においてある資料を眺めているだけで、なかなかドアを開けられずにいました。私にとって 2 回生の秋学期がラストチャンスだったので、ここでためらっていたら一生後悔すると思い、思い切って国際課のドアを開けこのセメスター留学に応募しました。あのとき一歩踏み出せなかったら、私を暖かく迎えてくれたホストファミリーにも現地で出会えた友達や先生方にも会うことが出来なかったし、こんな素敵な経験もできないままでした。そう思うと本当に思い切って挑戦してよかったと心から思います。この体験記を読んでいる人は少なくとも留学に興味がある人達だと思います。絶対にいい経験と仲間に出会えるので皆さんも一歩踏み出して留学にチャレンジしてほしいと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

この留学を通して、日本は他の国から学ぶべきことがたくさんあると思いました。しかし、日本の技術やおもてなし、文化など世界にもっと発信し伝えていくべきものも同時にたくさんあるだろうと感じました。将来は日本だけでなく世界も視野に入れて事業を展開しているような企業に就職し、様々な点における日本の質の高さを自分の手で世界に伝えていきたいと思います。

V. 写真



PIA で出会った韓国人の友達と私のルームメイトの誕生日パーティをしている写真です。
この日はバスでアジアマーケットに行って材料を買い、韓国料理と日本料理を作りあっ
て食べました。異文化交流が出来てとてもいい時間が過ごせました。



日本に帰る前日にホストファミリーと撮った写真です。本当に素敵なホストファミリーで、マザーはいつも私たち留学生にも自分の娘かのように接してくれました。最後の夜はみんなでプレゼントを渡しあったり、いろんな話をしたりして別れを惜みました。この家族に会えただけでもこの留学に参加した意味はあったと思うくらい楽しかったです。別れが寂しくて号泣しました、、、。

M. O.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

いつか留学してみたいとはずっと思っていました、本格的に考え始めたのは一回生の秋頃からです。

② 留学決定から出発までの準備期間

洋画をたくさん観たり洋楽を聴いたりして使えそうなフレーズを覚えました。不安な気持ちになってしまったときはアメリカやポートランドでどこに行きたいかなどを考えて気持ちを高めました。ビザの取得についてはひとりで何とかしなければならず大変でしたが、動画の指示に従って用意すれば問題なく取得出来ました。また地元から必要な書類を送ってもらわなければならなかったのが早めに準備しておいて良かったです。

③ 現地到着後

空港に PIA のスタッフが迎えに来てくれて、ホストの家まで送ってもらいました。初日はホストと買い物に行き、夜はホストの息子さん達やルームメイト、スタッフといっしょにご馳走を食べました。

④ 語学研修機関

PIA の先生はみんなフレンドリーで親切な方ばかりだったので学校で不安に思うことはありませんでした。日本より先生と生徒の距離感が近く驚きましたが、いつでも気軽に話しかけることが出来たので良かったです。課題は毎日出ましたがそれほど苦労することはありませんでした。プレゼンの課題が出たときは準備も要るし緊張もするので初めは嫌だったのですがやっていくうちに慣れてきて評価も上がりました。留学を通して一番成長したと思うことの一つです。冬休み明けからは約一か月間サービスマンシップとして二つのプレイスメントでボランティアをしました。最初に授業で、問題が起こったときの対処の仕方や丁寧な話し方を教わったのでその後一人でボランティア先に行っても困ることはありませんでした。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

PIA のスタッフが企画してくれるアクティビティがあったので、よく参加していました。シアトル旅行やハロウィンパーティーなど、友達と仲良くなる良い機会でした。

⑥ 現地での住まいについて

家からバス停まで約10分歩き、そこからバスで5分くらいのところに学校がありました。わたしは毎日シャトルバスを使って通学していました。ステイ先ではホストマザーひとりと韓国人のルームメイトと生活していました。ルームメイトとは生活感や好みが合わずイライラしてしまう時もありましたが基本的にはお互い協力し合っていました。マザーが健康主義者で、ごはんはいつも野菜中心でした。わたしは好きでしたがルームメイトは野菜

が苦手らしく、そういう人には合わないかなと思いました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマス前後に友達とロサンゼルスに旅行に行きました。オレゴンとは全然違ったアメリカの雰囲気を味わえて楽しかったです。オレゴンに帰ってきてからもアウトレットに行ったりしてとても有意義な時間を過ごしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

友達と週末に古着屋巡りや遠くまで遊びに行ったことが楽しかったです。日本とはまた違った雰囲気を味わえました。帰国前にカフェが有名なポートランドでカフェ巡りをしたこともいい思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

家が古く、度々どこかが壊れたりしてその度に苦労しました。虫が発生したときは足刺されもひどく、本当に辛かったです。しかしマザーはいい人で、言えばすぐに対応してくれたので良かったです。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

ポートランドの人々はみんなフレンドリーで、全然知らない人でもすれ違いざまに挨拶してくれました。店員さんもそんな感じで生活していてとても気持ち良かったです。また、韓国人が辛いラーメンに更にコチュジャンを入れて食べているのを見て本当に辛い物が好きなんだと驚きました。袋ラーメンに湯を入れてそのまま食べているのも斬新でした(笑)

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンは必要です。それと洗濯ネットもあって良かったです。衣服が傷むのを防ぐだけでなくルームメイトとの洗濯物を区別するのにも役立ちました。また、小さめの洗面器は洗濯が間に合わないときに手洗いできるので良かったです。日本のように毎日洗濯できるとは限らないので、スーツケースに余裕があるならおすすめです。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

やはりリスニング、スピーキング力は上がったと思います。また語学力だけではなく、海外で暮らした経験が自信となり度胸がつけました。以前よりも積極的に行動できるようになったし、留学して良かったです。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

迷っているなら絶対にしておいた方がいいと思います。私も自分の語学力やコミュニケーション能力に自信がなくてどうしようかとずっと悩んでいましたが、思い切って応募しました。いざ行ってみると不安に思っていたようなことは何もなく、毎日いろんな学びがあっ

て楽しかったです。こういった経験は社会人になってからはなかなか出来ないし、ぜひ今！チャレンジしてみたいです。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

やりたいことがたくさんあって具体的には決められていないのですが、留学を経て得た度胸を社会でも活かしたいです。

V. 写真



マザーと、韓国人のルームメイトです。マザーは77歳になるおばあちゃんでしたがウォーキングに行ったりジムに通っていたりととても元気な方でした。



アクティビティの一環として NBA の試合を観に行った時の写真です。ポートランドのチーム、Trail Blazers が見事勝ち、とても興奮しました！

Y. F.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

もともと大学中に留学したいと、入学した当初から思っていました。協定留学を最初は考えていましたが、友達が春にセメスター語学留学をするのを決めたという話を聞き、秋のセメスター留学を考えるようになりました。協定より気軽に挑戦できるのが良かったです。

② 留学決定から出発までの準備期間

語学の勉強をしようと思いつつ、授業や準備が忙しくなかなか思うように進みませんでした。特に、ビザ申請の書類や手続き、PIA への書類の準備が今までに経験のないことで、手伝ってくれる人もいないため大変でした。早めの準備が大切だと思います。

③ 現地到着後

たまたま同女のみんな飛行機が一緒だったので、安心して飛行機や入国の手続きができました。空港にはホストマザーが迎えに来てくれていたのでマザーの運転で一緒に家に行きました。初日は疲れていてすぐに寝たのですが、次の日はマザーもファザーも仕事だったため家に一人でさみしい 1 日でした。オリエンテーションが終わるとすぐ学校なので一気に忙しくなりました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

先生はみんな優しく、質問するとわかるまで教えてくれます。キャンパスはそんなに大きくはないですが、野生のリスが出てくる緑いっぱいのキャンパスです。

◆ 授業内容、課題、試験

レベルごとのクラスですが授業内容は簡単で、物足りない部分もありましたが、英語で英語の勉強をするというのは新鮮でした。一日おきに同じ授業があるので、ライティングの課題は少し大変でした。

◆ サービスラーニング

サービスラーニングの授業は特に大変で内容も難しいうえ、課題の提出がすぐなので苦労しましたが、日本ではわからないアメリカの常識やビジネスメールやレジュメの書き方はすごくいい経験になりました。実際にサービスラーニングをして、なかなかできない経験をさせてもらえた上、このプログラムがあったからこそその出会いがあったので本当にいい経験になりました。私のプレイスメント先のひとつは、CampFire という放課後の子どもたちと遊ぶ団体です。私は子どもと触れ合う機会がなかったので、アメリカの子どもたちとコミュニケーションをとりたいと思いこのプレイスメントを選びました。単語自体は簡単ですが子ども独特の話し方が聞き取りにくいこともあったり、接し方も探り探りでしたが、笑顔で話しかけ、子供が話しに来たらしっかりきいてあげるということを心がけ、先生方

の協力や、接し方を見習って、最終的にみんなと仲良くなれました。日本の文化について興味を持ってくれたり、お互いの文化を教えあうのが楽しかったです。子どもたちにはポケモンが大人気で、日本語名を教えてあげたりしました。もう一つのプレイスメントは Meals on Wheels というお年寄りにご飯をつくり提供する施設でした。私は調理補助と配膳をしました。食堂のおばさんのような位置だと思います。そこの人たちはみんな優しく、楽しく話しながら作ります。途中休憩もあり、コーヒーとお菓子を食べつつ施設に来る皆さんとお話しします。お年寄りの話し方も聞き取るのが大変でしたが、話しているのは楽しく、なかには日系三世の方がいたり、長生きしているからこそわかる話も聞かせてもらい有意義な時間でした。中国人のおじさんとなかよくなり、お互い英語やカタコトの中国語と日本語を話したり教えあいました。配膳が終わった後は一緒に働く方と作ったご飯を食べ、休憩の時間が多すぎて心配になったほどです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブなどはありませんが、PIA 主催のアクティビティにはほぼ参加しました。自分では行くのが難しかったりするところにいけたり、みんなで楽しめたのでいい思い出ができました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先は家も大きくとてもきれいな家でした。ホストファミリーはマザーとファザーの二人だけで子どもたちは4人いますがすでに自立していたので、家には二人だけでペットもいませんでした。ルームメイトもいなかったの少し寂しかったですが、ホストは二人とも本当に優しく、不満はありませんでした。ホストにとって私が初めての留学生だったみたいで、慣れていない分不安や心配も多かったと思いますが、毎日送り迎えしてくれ、過保護なくらい心配してくれて申し訳ないくらい感謝しています。食事はたいいマザーが料理してくれ、健康志向でオーガニックなものも多く私としてはありがたかったです。外食にもよく連れて行ってくれうれしかったです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

カリフォルニアに旅行しました。ディズニーやサンタモニカ、ハリウッドに行きました。自分たちだけなので英語を使うという意味でもすごくいい経験になりました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ホストと過ごす時間や、学校で友達と過ごす時間など日常での出来事が留学してるからこそ体験できる大切な時間でした。ホストに教えてもらう英語やアメリカの文化は私にとって新しいことばかりで大切な時間でした。サービslラーニングはとてもいい経験になりました。とにかく新たなことに会ったとき、留学している実感を感じられました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

やはり言葉が通じないことによるコミュニケーションの壁は留学しているとどうしても立ちはだかります。文化の違いによる勘違いなどや、何か問題があった時に聞きたいことが聞けない、理解が難しいなど生活に英語がいる空間にいるからこそその苦勞はありました。日本が恋しくなる時期ももちろんありましたが、アクティビティや自然の中で気持ちをリフレッシュすることで立ち直りました。旅行中に空港でアメリカで購入したケータイをなくすというトラブルが一番大変でした。拾ってくれた方と連絡が途絶え、空港で聞いても見つからずあきらめました、2週間後に空港から連絡があり最終的に見つかり手元に返ってきました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンは課題にも必要なので絶対必要です。ケータイは Wifi がないと使えないので現地で購入するか、ソフトバンクのサービスがいいと思います。洗濯で乾燥機を使うため痛むので、洗濯ネットは多めに持って行ったほうがいいです。歯ブラシは現地のものは大きすぎるのであったほうがいいと思います。想像以上にカード社会なのでカードは必須です。旅行に行けるくらいのカバンがあると便利だとも思いました。薬や化粧水、生理用品など心配なものは持って行ったほうが安心かと思います。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

ペラペラになるには物足りないというのが5か月だと思います。自覚があまりなくてもリスニング力は自然と上がっていると思います。留学してみて自分がこんなにも英語で話せないということに気づかされましたが、留学を終え、英語で話すことへの抵抗が少なくなり度胸がついたので、日本で外国人に道を聞かれても落ち着いて返せるようになりました。実際に TOEIC の点数もアップしました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

もしも興味があるなら挑戦してみることをお勧めします。日本にいただけではわからないこともたくさんありますし、海外から日本を客観視して初めて気づくことも、自分を見つめなおすきっかけにもなります。自分の力でやっていかなくてもいけない大変さや苦勞もありますが、その分成長を感じられます。私は正直、日本で生きてきた20年よりもアメリカに留学して過ごした5か月のほうが濃く、自分をいろんな意味で成長させてくれる時間でした。絶対に自分のプラスになると思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

方向性はきまっていますが、接客の仕事でなおかつ英語を使えたらいいなと思っているので、十分な英語力を身に着けるため、これからも勉強を続けていきたいです。

V. 写真



アクティビティで gorge の上まで登った後に撮った写真です。この帰りにすごくきれいな夕焼けを見て、人生で一番心に響いた夕焼けでした。一生忘れない景色です。



おうちのクリスマスツリーです。木を切り買いに行くところから始まり、飾りつけをしました。毎日水やりをしたのが思い出です。プレゼントはこの後さらに追加されました。

K. I. (英語英文学科・2年次生)

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は、高校生の頃に、二週間だけニュージーランドにホームステイをしており、その時に自分の語学能力の低さを痛感して、大学に入ってから留学をもう一度して、自分の語学能力、一人の人間としての能力をあげるために応募しました。さらに自分の将来のためでもあります。そして、アメリカで生まれたということもあり、アメリカに強い願望があったので、アメリカに希望しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

私は、二重国籍だったので、アメリカのパスポートで出国した方がいいのではないかということで、16年ぶりにアメリカのパスポートを更新しました。セメスターに過去にいった方たちの中に、私のような前例はなかったために、一人で全てなにもかもしなければならなかったのも、とても大変でした。アメリカ領事館にはもちろん、全て英語で話さなくてはならず、留学に行く前から苦勞をしました。

③ 現地到着後

現地に着くと、自分の名前の書いてある紙を持って待っているホストファザーが、私を大きくハグをしてくれて出迎えてくれました。ホストファザーの車は、とある有名なアイス屋さんのものでした。レトロで可愛くて、衝撃が大きかったのを今でも覚えています。私のホームステイ先には、韓国人のハウスメイトがおり、その子がしっかりしていたために、はじめの方から不安はそこまでありませんでした。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

PIA は、自然が豊かで、非常に緑が綺麗です。校舎は小さいほうですが、私は過ごしやすく好きでした。大きなリスが毎日何匹も出迎えてくれます。ブックストアやカフェテリアがあるので、例えお昼を忘れても、おやつを買いたいという時でも利用できるのも、比較的便利でした。PIA のスタッフは、ほぼほぼいい人だったと思います。特に、留学生アドバイザーの方、PIA 代表の方にはとてもお世話になりました。今でも感謝しています。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は、Grammar, Reading, Speaking/ Listening, Writing の4科目で構成されていました。Grammar では、先生がおもしろくていつも笑っていました。どの授業も、今まで有耶無耶にしていた箇所や分からないところを細かく詳しく学ぶことができました。Speaking/Listening の授業では、たくさんのスラングを学ぶことができてとてもためになったし、実際に使用することもできました。課題は多いですが、しっかりやっていき、授業もちゃんと聞いていれば、試験にはそんなに困らないと思います。

◆ サービスラーニング

私は自然に興味があり、緑に携わるボランティアをしたかったので、木を植えることをメインとするボランティアと、昔バレエとダンスをやっていたので、踊りに関係するものが良いと考え、ダンス教室のお手伝いをしていました。全然知らないところに一人で飛び込んでいくのは、正直とても怖かったです。しかし、ボランティアが始まる前に、サービスラーニングの授業でしっかり準備をするし、ボランティアが始まってからも一週間に一度ほど学校に行き、今どのような状況かを報告し、先生からアドバイスをもらい、それを参考にして次にボランティア先に行ったときに実践し、改善していくことができました。先生がいつもサポートしてくれるので、心配することはないです。はじめは、英語が聞き取れなくても聞き逃していつてしまったことも、途中からわからないことは全て聞いたりして、そこから会話を広げていくことができました。このサービスラーニングで、度胸もついたと思うし、自分の成長を感じることが出来ました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

学校のアクティビティには、惹かれるものが多かったのでたくさん参加しました。日本にはない経験ができると思うので、たくさん参加されることをお勧めします。特にシアトル旅行や、NBA 観戦は楽しかったです。シアトル旅行では、新しい友達ができたり、スターバックス 1 号店があったりして思い出深いです。NBA 観戦では、現地のチームを現地の人たちが熱狂的に応援する姿を見、また自分もそこに参加することができ、同じように盛り上がることができました。あの時の一体感は今でも忘れません。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先は共働きで、なかなか家にホストマザーもファザーもおらず、コミュニケーションを取るのがとても大変でした。バス停も近いし、スーパーや郵便局も近くて立地としては最高でしたが、初めの方は、夜ご飯がないことが多かったり、とにかく放置が多くてとても辛かったです。ハウスメイトと話し合っ、ホームステイ先を変えようか何度も考えました。学校のホームステイ先を管理している現地のスタッフに相談したら、1 回目は話を聞いてくれましたが、2 回目は耳すら貸してくれず、ハウスメイトとその場で涙を流したことを覚えています。そこで、優しい留学生アドバイザーの方が話を聞いてくれて、アドバイスをくれました。やはり、現地の人は思ったことを言わないと日本人と違って伝わらないので、ちゃんと口に出して言うことを教わりました。その日、帰ってから思っていること全てをホストファミリーに話したら、二人とも理解をしてくれて、そこからは良い関係はうまく築いていくことが出来たと思います。本当にコミュニケーションを取ることは大切なのだなと思いました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマスに友達 4 人でロサンゼルスに行きました。ディズニー、ハリウッド、メルローズ、サンタモニカビーチ、ベニスビーチに行きました。どこもとてもしましたが、私はこの旅行で、サンタモニカビーチ、ベニスビーチの美しさに感動して大好きになりました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

3,4 カ月たって、やっと英語も聞こえるようになり、自分も思ったことをボランティア先で話せるようになったときは本当に嬉しかったです。なによりも、あいさつ、業務内容ではなく、会話ができるようになったことが最も心に一番残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

上でも述べましたが、ホストファミリーの件が最も辛く、苦勞したことだと思います。ですが、得たものもとても大きかったので、自分が辛い、苦勞したと感ずることは、一人で抱え込むのではなく、誰かに相談することでヒントをもらい、解決に繋げていくことができ、また一つ成長したと思えるので、辛いというネガティブな感情だけで終わらせない方が良いと思います。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

ハウスメイトの韓国人との文化・習慣の差にはとても驚きました。もちろん、辛いものが好きなのは知っていましたが、真っ赤な食材もなにも言わずに完食してしまう姿には本当に驚かされました。あと、常にビデオ通話をしているのにも驚きました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンは、word を使うものやプレゼンが多いので、自分のものを持って行ったほうが良いと思います。現地では、洗濯機を回した後で乾燥機にかけるため、洗濯ネットを持っていくことをお勧めします。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私は帰国して一番早く受けられる TOEIC を受験しました。留学前と比べて、リスニング問題に苦勞することなく解けたし、リーディングも留学前よりもスコアが伸びました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学を少しでもしたいという気持ちのある人は、ぜひとも恐れずに応募してみてください。学生のうちに行っておいて損はないと思います。いま行っておくことで、自信をつけることもできるし、一人の人間として視野が広がり、成長を感じると思っています。この経験は将来にも必ず生かせると思うので、よく考えてみてください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は将来、まだ具体的には定まっていますが、航空業界、旅行関係に勤めたいと考えています。そして、ゆくゆくは海外で働き、暮らすことが夢です。

V. 写真



私のハウスメイトとホストファザーとマザーです。私が帰国する朝に撮影したものです。帰り際は、涙を少し流してしまいました。



これは、学校のアクティビティのハロウィンパーティーで撮影したものです。同女生とドイツ人生徒です。みんな色んな仮装をしていて、とても楽しかったです。

M. K.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校の時に将来 CA になりたいと思い始め、大学生になったら絶対に留学に行きたいと思っていました。英語が全然喋れなかったので留学に行って英語力が上がったらいいなと思いセメスター留学に応募しました。一回生の時から行きたかったのですが、英語力に自信がなく二回で行くことを決めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってから事前授業があり、そこで研究テーマや学習目標についてみんなの前で発表しました。ビザの手続きは YouTube の説明を見ながらしました。たまに分からないことがあり少し苦戦しました。質問が多く大変だったので早めにするのが大切だと思いました。大使館に行くのはとても緊張したのですが結構あっけなく終わりました。出発までに勉強の時間をあまりとれなかったのが少し後悔です。

③ 現地到着後

私が空港に着くと、ホストファミリーがいなく PIA のスタッフの人が迎えてくれました。ほとんどの人たちはホストファミリーが迎えに来られていて帰って行きましたが、私を含めホストファミリーが来ていない人たちは PIA の人の車にのせてもらいポートランドを観光しました。そのあと学校に行きホストファミリーと出会いました。私はオリエンテーションの二日前に着いたのですが、ルームメイトは私より先に着いていました。翌日ルームメイトが誘ってくれ、ダウンタウンに行きバスの乗り方を教えてくれました。時差ぼけがすごく、1週間ぐらいとても眠たかったです。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

大学には食器類がおいてあり自由に使えるので便利でした。学校の周りはとても自然でリスがたくさんいてかわいかったです。先生方はとても親切で質問などもしやすかったです。先生全員がフレンドリーでとても話しやすかったです。

◆ 授業内容、課題、試験

始めにテストをして自分のレベルにあったクラスで授業を受けられたのでやりやすかったです。クラスの人数も多くなかったのがよかったです。Grammar に関しては内容が簡単すぎるなと思っていたのですが日本では詳しく教えてもらわないことを詳しく教えてもらい、

とても分かりやすかったです。普段何気なく解いていた問題もこういう理由でこの文法や単語がはいるのか、など自分のなかで新しい発見がいっぱいありました。Writing では日本では絶対学ばない事を教えてもらいとても勉強になりました。課題はとても多いとは思わなかったのですが、プレゼンの準備は苦戦しました。試験は1タームに midterm と final と二つありました。どちらも授業内容に沿った内容だったので勉強すればよい点数がとれるようになっていました。

◆ サービスラーニング

一人第三希望までボランティア先をリストから選びました。私は第一希望が友達と被ってしまったので第二希望と第三希望のところに行くことに決めました。ボランティアが始まるまでに履歴書を書いたりビジネスメールを送ったり面接に行ったりと大変なことばかりでした。全員がボランティア先が決まってから自分の行き先の紹介をプレゼンしました。私は Boys and Girls という小学生の放課後教室と After school tennis and education というこちらも小学生の放課後教室に行きました。どちらも子供と接するのでとても楽しかったです。一緒にドッジボールをしたりゲームをしたり勉強を教えたりしました。子供たちとはすぐに仲良くなれました。その分お別れの時に子供が帰らんといてと言い泣いてくれて私もとても悲しくなりました。とてもいい経験でした。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

PIA ではたくさんアクティビティがありました。私はシアトルに行ったりボーリング、アウトレットに行ったりしました。PIA の人が車をだしてくださったので楽でした。そのかわりお金はかかりました。アクティビティを通して友達もできました。また、わたしは conversation program という PIA の人が現地の人を紹介してくれて1対1で英語の練習ができるプログラムを利用しました。私の場合は友達と2対1で行っていました。パートナーの人がとてもいい人で話しやすかったです。私たちは Café で会って話していました。

⑥ 現地での住まいについて

現地ではホームステイをしていました。私のファミリーはお母さん、お父さん、2人の娘と韓国人のルームメイト、1匹の犬と2匹の猫でした。娘は20歳を過ぎていたので実家ではすんでいなかったのですが2週間に1回ぐらいのペースで会っていました。初めは緊張して気を遣っていたのですが慣れたら自分の家のように過ごしていました。朝ごはんは自分が食べたいときに勝手に食べていてお昼と夜はマザーがいつも作ってくれました。二回ほどルームメイトが韓国料理、私が日本料理を作ってみんなに食べてもらいました。日曜日には教会に連れて行ってもらう日もありました。時間があれば一緒に家で映画鑑賞も

していました。ルームメイトともとても仲良く休日は一緒に遊びに行くことが多かったです。家でも Wii をしたりトランプを一緒にしました。ただ、バス停が遠く毎日バス停まで送ってもらいそこからバスに乗って学校やボランティア先に通わなければいけなかったのです。こし大変でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はニューヨークに行きました。日本から友達が来てくれたのでニューヨークで合流しました。初めてのニューヨークはとてもよかったです。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

楽しかったことがたくさんあり一つには絞れないです。アメリカにいるときは何気なく過ごしていましたが、今思えば毎日通っていた学校もボランティアも楽しかったです。当時はルームメイトと学校いきたくないなと毎日のように言っていたのですが学校にいけば友達に会って毎日ふざけあってとても楽しかったです。一番思い出に残っているのは留学のほとんどの時間を一緒に過ごしたホストファミリーとルームメイトとの生活です。本当に楽しかったです。この人たちで本当に良かったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

辛かったことは初めみんなの英語を理解できなかったことです。これからやっていけるかなと思っていました。自分の未熟さに腹立たしかったです。ボランティア先では子供の宿題がスペイン語でとても苦労しました。たまにスペイン語も話すので本当に言っていることが分からなくて行きたくない日も多々ありました。また、私の家はバス停から遠かったのでどこに行くのもルームメイトやホストに合わさないといけなかったので大変でした。長い時では1時間ちょいぐらいバス停で待つこともありました。あと、大雪が降った日にバスが動かなくなりとても寒い中手段がなく二時間ぐらい外にいた時は本当に日本に帰りたいと思いました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

家族愛がすごかったです。私たちがいるのにマザーとファザーはキスをすることがありました。あと、寝るのがとても早くてびっくりしました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコン、クレジットカード、電子辞書、日本食、ホストファミリーへのお土産、爪切り

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前では speaking の授業でネイティブの人と話すのがとても嫌でしたが留学から帰ってきてからはネイティブの人と話すのはよい機会だし、自分のためになるという気持ちに変わりました。バイト先に外人さんが結構来るのですが、今までは外人さんの接客を社員さんに任せていたのですが、自分から積極的に外人さんの接客をするようになりました。

TOEIC の点数も留学前とは変わりました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学を少しでもしたいとおもっている人は絶対に行くべきです。できるなら私はもう一回留学したいといつも思っています。留学は英語の向上だけでなく、たくさんの人との出会い、たくさんの発見があります。今までは日本だけで物事を捉えていたのが世界という大きい規模で物事を考えるようになります。大学生のうちに留学するのをお勧めします。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の夢はまだ決まっていますが、私は今教職の授業に専念しています。将来は英語を使う仕事に就けたらいいなと思っています。

V. 写真



私のボランティア先の Boys and Girls Club で撮った写真です。子供たちがとてもかわいくて毎日行くのが楽しかったです。



学校でハロウィンパーティーをした時の写真です。みんなでコスチュームを着ました。

T. N.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は二年生の秋に、セメスター留学に参加しました。留学を希望した理由は、私は幼い頃アメリカに住んでいましたが、日本人学校に通っていたので英語は喋れません。でもアメリカで生活していたおかげでアメリカの文化や生活に興味を持っていたし、もともと英語は好きなので、セメスター留学を希望しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってから、いろいろ準備する期間が短いので後回しにせず、早めに全部準備しないと大変でした。特に、ビザを取得するための書類の準備はパソコンで入力しなければならず、時間がかかってとても苦労しました。とてもややこしいのですが、ビザの取得の流れがわかるアメリカ大使館が提供している動画を見て、なんとか書類入力をして、自分で面接予約をして、面接を受けてビザを取得できました。ビザ面接の日、寝坊をしてしまい、しかもパスポートを忘れたことを自分の最寄り気づいて、その日は面接を受けることができず、絶望しましたが、面接予約を取り直すことができたのでビザは無事に取れました。ちなみに、ビザ取得の際、高校時代の英語の成績は不要でした。出国と帰国の日時も自分で決めて、それに合わせて飛行機の予約も自分でやる、というのが少し不安でしたが、学校が始まる二日前くらいに着いておくくらいがいいかなと思います。あと、出発前に苦労したのはホストファミリーに渡すお土産選びです。実際家に行ってみると、長い間留学生の受け入れをしていたので、お箸はたくさん持っておられました。お菓子などがオススメです。

③ 現地到着後

空港からは、ホストファミリーが仕事で私を迎えに来られないということで、PIA の先生がそういう子たちをまとめて学校まで連れて帰ってくれて、少し観光して、ピザを食べさせてもらいました。オリエンテーションや手続きは、学校が始まる時にいろいろありましたが、あまり苦労した記憶はないのでそこまで構えなくても大丈夫です。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校の先生は皆さんとても親切で本当に熱心に英語を教えてくださいます。分からないことは授業中に聞いたり、授業後に聞いたりしていました。チューター制度というのがあり、一週間に一度、先生に個人的に分からないところを聞いたり、会話に利用したりできる制度があります。よくそれを利用していました。

◆ 授業内容、課題、試験

ライティングが難しく毎回とても苦労しました。教科書の内容を即興でプレゼンをしたり、グループワークやペアワークがたくさんありました。どの授業も宿題は絶対ありました。週に

二回同じ授業があるので、帰ったらその日のうちにその日の宿題を終えないと大変なことになります。

◆ サービスラーニング

サービスラーニングというプログラムが 2 ターン目から始まるのですが、それは私にとってすごくいい経験になりました。本当にオススメです。ボランティアを経験するのですが、そのボランティアに面接に行ったり、履歴書みたいなものを作成して送ったりしました。サービスラーニングに向けて行う授業も、アメリカで働くためのタブーやマナー、丁寧な言葉やスラングやドレスコードなども学べてすごく為になりました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

PSU という大学がダウタウンにあるのですが、日本語を喋りたい現地の学生と会話をする、というボランティアにたまに行きました。学校のアクティビティにもたくさん参加しました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーは何人も留学生の受け入れをしてきた方で、余裕がありました。なので、とてもいい関係を築けたし、なにより過ごしやすかったです。食事はわりと適当で、日本人のように毎日献立が変わるわけではないので、少し大変だったところもあります。学校から家まで歩いて 40 分ほどなので歩いて学校まで行っていました。ただ家が山の上で毎日登山している感じでした。歩道もないし、電灯も少ないのでそこは大変でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

冬休みには友達と二人でカリフォルニアのユニバーサルスタジオに行きました。ロサンゼルスに住んでいて、ユニバーサルスタジオに何回も行きましたが、バス移動と車移動では全くその土地の見え方が違って驚きました。ハリウッドあたりの治安は悪くはないですが、周りに気を付けて歩いたほうがいいと思いました。ほかにアウトレットに行ったり、クリスマスにホストマザーの妹の家に行ったりしました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ルームメイトがいなかったのが最初は寂しかったし、ルームメイトがいる友達が羨ましかったのですが、1 人だからこそいろいろ私のペースで話ができたり、分からないことはたくさん聞けました。一緒に映画を見たり、最後の 1 ヶ月ぐらいはホストマザーと夕食後、毎日トランプをしていました。ホストファミリーと仲良くなって、一緒に話をすることが楽しかったです。私は、できるだけホストファミリーが行くところに一緒について行きました。ホストファミリーは週に二回ダンスに行っていて、そこについて行ったり、買い物に行くのについて行ったり、ホストマザーの妹の家にクリスマスに行ったりしました。しょっちゅうアウェーだな、とか場

違いじゃないかな、など考えましたが、せっかくのネイティブの会話を生で聴けるチャンスだし、と考え、会話はあまり分からなかったのですがついて行きました。いい思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

実際に2つのボランティア先に行きましたが、周りはネイティブしかいないので学校で先生方と話すときや、ホストファミリーと話すときは全く違う英語のスピードや、砕けた表現ばかり出てきて、なにを言っているのか理解するのが大変でした。でも1人でネイティブばかりの環境に飛び込んでいって、分からないことを聞いたりしていくことで、自分の中に充実感もあったし、精神的にも強くなったのかなと思えました。森を綺麗にするボランティア先に行っていたのですが、そこでボランティアのトレーニング会があり、自己紹介を1人ずつしないといけなかったし、トレーニングの内容が本当に何を言っているのか分からなかったし、グループワークなどもあり、アウェーすぎて泣きそうになりましたが、いろいろ喋りかけてくれて、気にかけてくれる方もいてくれたので、アメリカ人のフレンドリーさに救われました。自分から行くのが一番大切だと思いますが、本当にできない場合は皆優しいので、喋らなきゃとガチガチにならなくても、なんとか乗り切れました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

食事することをあまり重要だと思っていないのかなと思える時がたまにありました。お肉をあまり食べない家で、何日も同じものを食べることがたまに大変だなと思えました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

絶対必要なものはパソコンです。プレゼンテーションがたくさんあるし、レポートなどもたくさん提出しなければならないのでパソコンを持っていかなかったら学校のパソコンを使うしかないのととても不便です。携帯電話は、現地の携帯電話を買う人が多かったのですが、私はソフトバンクのアメリカ放題というキャンペーンに入っていたので、そのまま自分の携帯をアメリカでも使えたし、WiFi が飛んでなくても携帯を使えるので、今はそのキャンペーンがどうなっているのか分かりませんが、本当にオススメです。値段も日本にいる時と変わらないです。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学に行って、自分の視野が広まったし、精神的にも強くなったと思います。自分は、わからない単語が話に出てくると、すぐその意味をホストファミリーに聞いてメモすることを心がけていました。そのおかげで自分の語彙力も上がりました。ただ、まだまだ勉強不足なので、これから英会話に行ったり、単語を覚えたりして、自分の話に厚みがつくように英語の学習を続けていきたいです。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

外国に行ったら、本当にいろいろな価値観が変わると思います。日本とはまた違った暮らしやすさ、暮らしにくさがあります。そのうえで日本がより好きになると思います。この留学は学生生活のうちの充実感がピークだと感じるくらい、とてもいい経験になりました。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

この留学を通して、英語をもっと話せるようになりたいと思いました。来年は就職活動をしますが、できるだけ英語を使えるような企業に就職したいです。そのために、TOEIC の点数をもっと上げたいので対策していきます。

V. 写真



この写真は、冬休み中、サービスマーケティングの集中講義があり、その最終日の写真です。この授業が終わると、それぞれが異なったボランティア先に行くので、学校の友達や、先生と顔を合わせることも少なくなります。寂しいながらも、授業が終わった達成感がありました。

2016 年度（秋学期）

Pacific International Academy



この写真は留学の全てのプログラムが終わった後に、友達と一緒にカリフォルニアのディズニーランドに行った時の写真です。ディズニーのほかに、ナッツベリーファームも行きました。

M. S.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

昔から海外の文化に興味があり、現地で直接異文化を体験したかったからです。留学を真剣に考え始めた時期は、一年生の秋ごろでした。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってから出発までの間は、現地の人の話すスピードにできるだけ慣れておきたいと思ったので、海外の映画やドラマを空いている時間に見るようにしていました。

③ 現地到着後

空港にホストマザーが迎えに来てくれていて、そのまま家に送ってくれました。学校のオリエンテーションでは、プレイスメントテストや学校や生活面での説明を受け、覚えることがたくさんだったので大変でした。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校は大きくはないですが、カフェテリアやブックストアなど施設は充実していたので、不便に感じることはなかったです。スタッフの方も優しい人ばかりだったので、話かけやすかったです。

◆ 授業内容、課題、試験

授業ではグループワークがほとんどで、他の国からきた生徒とも頻繁に話す機会が多かったです。試験では 80%取らないと合格できないので、簡単ではなかったです。

◆ サービスラーニング

私は子どもに関わるボランティア先を選びました。ボランティアを通して子どもの教育の仕方を間近で見ることができてすごくいい体験でした。また学校から出て現地の人と話すので、私のリスニング力とスピーキング力は向上したように思います。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

毎週金曜日に、他の大学で日本語ボランティアが行われていたので、予定がないとき以外は参加するようにしていました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先は一番近くのマーケットやバス停に行くのに歩いて 30 分かかったので、そこは大変でした。でもホストファミリーはとても優しく、面白かったので、毎日楽しか

ったです。困ったことがあっても相談しやすい環境でした。また行事などとても大切にしていたので、一緒にアメリカの文化を経験できてとてもよかったです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇を使って、ロサンゼルスとアナハイムのディズニーランドに行きました。ポートランドと雰囲気が全く違ったので私にとっては新鮮で楽しかったです。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

私のホームファミリーはアメリカの行事やイベントごとを大切にしていたので、彼らとハロウィン、サンクスギビングやクリスマスなどを過ごせてとても思い出に残っています。日本では経験できないことなので、特に印象深いです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

PIA は日本人がとても多かったので、どの程度日本人と関わっていったらいいかわからなくて悩んだ時期もありました。私の場合、ルームメイトを持っていなかったので、学校でも日本人の友達と行動しているとせっかく留学に来たのに、これでは駄目だなと思いました。それからはなるべく日本語を使わない英語の環境を見つけて、英語を使うようにしていました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

とても健康的な暮らしをしていることに驚きました。

私のホームファミリーには子どもがいて、ホストマザーも朝起きるのがとても早く、彼らの就寝時間が夜の 9 時頃で最初はとても驚きました。日本にいたころとの生活リズムが全く違ったので、慣れるのに大変でした。私の家だけかなと思っていたら、結構友達の家もそうだったので、驚きました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコンと USB は持って行ったほうがいいと思います。あと日本の薬を持っていきました。日本のものが安心して飲めると思います。元々風邪はひきにくい体質でしたが、現地の環境に慣れず、何度か風邪の症状が出てしまい、そのときに利用しました。とても役立ちました。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキングとリスニングが向上したように思います。留学に行くまでは英語を話すことにとても抵抗がありましたが、留学を通して、だんだん躊躇なく話せるようになりました。留学中に会った何人かの現地の人に私の英語をほめてもらえて、とても嬉しかったです。これからも努力していこうと思います。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学に少しでも興味があるならチャレンジしてみてください。時間のある大学生活のうちに経験した方がいいと思います。私はこの留学を通して、英語だけでなく色々なことを学ぶことができました。日本では経験できないことばかりだったので、セメスター留学に応募して本当に良かったです。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

英語を使った国際関係の仕事に就きたいです。英語力を維持して、まずは TOEIC のスコアを伸ばすために勉強していこうと思います。

V. 写真



通っていた学校の写真です。校内でリスがいたり緑も多く綺麗な学校でした。



サービ斯拉ーニングのプレイスメント先での写真です。私は子ども美術館でボランティアをし、子どもたちが作る作品の手伝いや片づけをしていました。

A. S.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

きっかけは、高校の時にも 2 週間ほどの留学があったのですが、自分の意志が弱くまた日本からでるのが怖く行けなかったことで後悔したからです。そして大学に入学したら、絶対留学に行こうと決めてました。そして、高校生の頃に同志社女子大学のオープンキャンパスに参加したり、資料を拝見して留学制度が充実しているため受験することを決めました。また小学生からの夢である航空関係の仕事に就くという夢を叶えるためにも英語は必要だという理由もありました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは、留学英語基礎講座に今出川キャンパスから週 2 日通っていました。帰宅するのが 11 時を過ぎてしまうため、体力的にしんどい時もあったのですがこの留学のための準備で少しでも英語に触れる機会を多くしたいという気持ちを持ち続けて通いました。その講座には、留学を目指している仲間もいたため高いモチベーションを持ち続けられました。パスポートの手続きは 6 月ごろにして、ビザ申請は大阪のアメリカ大使館に 8 月の半ばに行きました。ビザ申請は時間もかかるのでもう少し早めに行けばよかったなと反省したのを覚えています。

③ 現地到着後

私の場合は、ホストマザーが空港まで迎えに来てくださって、一緒に公共交通機関を使ってホームステイ先まで行きました。1 時間 30 分ぐらいかかりました。しかし、乗り方や切符の買い方など分かってよかったと思います。オリエンテーションは半日かけて行い、日本人スタッフがいることや、困ったことがあったら気軽に相談できるようにメールアドレスを教えて頂いたことを覚えています。

④ 語学研修機関

施設はきれいな教室、図書館、トイレとすべてが綺麗で困りませんでした。環境は日本人が多くアメリカ人と触れ合う機会が少ないなと感じました。スタッフは日本人の方が一人いて、先生も一人日本人がいました。

授業内容は、文法、リーディング、リスニング&スピーキング、ライティングと四つの授業に分かれていて週に 2 コマずつ授業がありました。試験については、日々の授業を真剣に取り組んでいたら心配ないと思います。わからないことがあったら聞くという姿勢を常

に持つことが大切だったと思います。

サービslラーニングは、始まるまでに事前授業がたくさんあり、ビジネスメール、マナー、タブーなど学びました。また、サービslラーニングの期間中は伝わらないことやしんどいことも沢山あり、ヘルプスができたりと大変だったのですが、友達に励ましてもらって乗り越えられました。サービslラーニングを終了したときは、達成感と本当にサービslラーニングをしてよかったと思いました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

ボランティアなどはしてないですが、とにかくせっかくアメリカに来ているのだから外に出るということを心がけました。ホストマザーと一緒に教会に行ったことは、勉強になり、知識が増えたなと思いました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイでした。ルームメイトが 2 人いました。トイレは 3 つ、シャワーは 2 つありました。シャワーの時間は 10 分という決まりがありました。部屋に暖房がなく凍えそうな日もありました。食事はホストマザーの手作りで、朝はたまご、パンまたはシリアル、オレンジジュースで昼は手作りのサンドイッチ、夜はスパゲティやチキンのトマト煮、マッシュポテトなど種類豊富で美味しかったです。毎日美味しいごはんを残さず食べたため 5 キロも太りました。通学時間は 1 時間ほどでバスを 2 回乗り継ぎました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

サービslラーニングのため 2 週間ほどしか休みがなかったのですが、カリフォルニアに 2 泊 3 日で旅行に行きました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

スクールアクティビティでは、シアトル旅行やハロウィンパーティなど行事が充実して楽しかったです。何気ない日常が楽しかったのでどれが一番は決められないです。インスタグラムで美味しそうなお店を探して行ってみたり、アウトレットに行ったり自分で決めて行動することもいい経験になりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初は私の英語の力不足でコミュニケーションがうまく取れずに苦勞しました。ほんとに悩んでどうやって英語で先生に言うかというのも課題でした。食事中など、言いたいことは頭に浮かんでいてもすぐに英語にできずに会話になかなか入れなかったことが辛かった

です。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

ゴミ箱がバスの中にあること。食事の前にお祈りをする事。毎週日曜日に教会に礼拝に行くこと。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

パソコン、電子辞書、カイロ、電気毛布、日本食、緑茶、常備薬、日本のお菓子

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

TOEIC に対する姿勢が変わりました。就職が必要であることや、留学で得た知識を無駄にしたいと思うようになりました。TOEIC は 100 点ほど伸びました。また、ポケットサイズのメモを持ち歩いて、常に新しい単語を書き留めるようにしています。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

少しでも留学に興味があるなら、説明会に行ってその気持ちがどのくらいのものか確かめてほしいです。そして留学に本当に行きたいと思っている方は、諦めずにぜひ挑戦してほしいです。英語力の向上はもちろんのこと、人として一回りも二回りも大きくなった自分に気づくと思います。辛い時も沢山ありましたが辛かったことと同じくらいに楽しいこともあります。留学を通して価値観が変わったり、世界が広いと実感したりします。大きな選択かもしれませんが、人生の財産になると思うので頑張ってください。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は小学生からの夢であるグランドスタッフになることを目標に就職活動を頑張ります。また、TOEIC は 780 点獲得を目指します。これからも英会話を続けて、英語に触れる機会を自ら作っていかうと思います。

V. 写真



ルームメイトと PIA でのハロウィンパーティーの時に撮りました。右からサウジアラビア人のスマヤ、韓国人のソラです。彼女たちは私よりも年上で姉のように慕っていました。うまくいかないときも沢山あったのですが、留学生活後半は仲良く、本当の姉妹のようになれました。



Conversation partner のローラとランチに行った時の写真です。一対一で会話の練習をしたり、生きた英語を学べて良かったです。